

庁舎のあり方に関する検討評価軸(考慮すべき条件) (案)

評価要素	評価軸	細目	現本庁舎との親和性	備考(重要度)
地域性	地域との調和	・地域環境や街並みとの調和性		
		・景観に配慮している		
位置	アクセス性	・市民が利用しやすい場所(人口重心)		
		・多様な交通アクセスにより利用できる場所		
		・便利で分かりやすい場所にある		
	都市機能の集約性	・都市の中心性		
		・都市機能が集積された地区への立地		
	行政機能の集約性	・市役所としての機能の集約性		
・他の行政機関との近接性				
・国県施設との合同又は相互乗り入れ				
拠点性	市民協働の拠点機能	・まちづくり拠点性		
		・市民や行政情報の送受信性		
	防災拠点機能	・災害対策本部としての立地性		
		・災害に強い立地		
環境性	エコロジー	・太陽光発電パネルの設置		
		・雨水利用		
		・省エネルギー対応		
機能性	市民の利便性	・ユニバーサルデザイン		
		・ワンストップ機能		
		・誰にでもわかりやすい配置		
		・エレベータの設置		
		・情報の送受信が可能		
	職員の利便性	・執務空間のゆとりと快適性		
		・組織改編や機能変化に対する柔軟性		
		・高度情報化に対応したインテリジェント性		
快適性	室内環境の向上	・自然光や自然風を取り入れた室内環境の快適性		
		・広く緑あふれ快適なロビー		
		・カウンターが広く使いやすい		
		・喫茶スペース等憩いの空間		
緊急性	災害復旧	・庁舎整備の緊急性		
経済性	財源計画			
	事業スケジュール			
	土地の求めやすさ			
	既存施設活用の可能性			
将来性	広域都市への対応			
整合性	法令等との整合性	・市全体の土地利用構想等上位計画との整合性		
		・法令による土地利用規制との整合性		